

新・公立宇出津総合病院改革プラン
自己点検、自己評価書
(平成29年度分)

平成30年9月

新改革プラン評価委員会

はじめに

総務省より平成26年度に「新・公立病院改革ガイドライン」が通知されたことにより、新・公立宇出津総合病院改革プランを平成28年度に策定いたしました。これにより、病院機能の見直しや、病院事業の経営の改革に取り組み、そのプランを住民に対して速やかに公表するとともに、自己点検及び自己評価書を作成し、有識者や地域住民の参加を得て設置した評価委員会に見直し等をするなどして、評価の客観性を確保することとなりました。

今回、平成29年度の決算を受けて、新・公立宇出津総合病院新改革プランの自己点検と自己評価を行ったことから、その結果を報告いたします。

なお、評価に当たっては、次の方法により行いました。

数値目標に対する評価

区 分	評価の内容
A	目標達成値が100以上の場合
B	目標達成値が95以上で100未満の場合
C	目標達成値が95未満の場合

※目標達成値＝実績値÷目標値×100

※目標数値が低いほど経営状況が良い場合（人件費比率等）は、目標値を実績値に除する数値を目標達成値とした。

取組状況に対する評価

区 分	評価の内容
A	評価取組にあげた取組は、達成した。
B	評価取組にあげた取組は、一部達成した。
C	評価取組にあげた取組は、達成できなかった。

今後も地域の基幹病院として、町民の命と健康を守り、安定した医療を継続して提供するため、経営改善の取り組みを強化し、改革プランの目標達成に向け努力いたします。

1 医療機能等指標に係る数値目標

(ア) 一般病床の平均在院日数

(単位：日)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
16.9	19.0	16.7	118	A	19日以内

【平成29年度自己評価】

退院調整及びリハビリの効果により、平均在院日数が0.7日減少し、病床回転率は良好となった。有線放送及び広報等を活用し、新入院患者数の増加を図る。

(イ) 地域包括ケア病床の在宅復帰率

(単位：%)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
93.6	90.0	90.9	101	A	90.0

【平成29年度自己評価】

在宅・介護施設以外の所に退院したため、昨年度より在宅復帰率が減少となったが、目標値90%を達成した。平成30年度も90%以上の復帰率を目標とする。

(ウ) 救急搬送受入件数

(単位：件)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
507	500	504	101	A	500

【平成29年度自己評価】

目標値を達成した。平成30年度も500件以上の受入件数を目標とする。

(エ) オープン検査件数

(単位：件)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
80	90	41	46	C	90

【平成29年度自己評価】

オープン検査件数は、開業医による検査依頼によるもので、患者の病状により検査件数が半減したと思われるが、平成30年度も、90件以上を目標とする。

(オ) 町内医療機関への当直表配布

(単位：箇所)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
1	7	7	100	A	無し

【平成29年度自己評価】

平成29年度から町内医療機関1か所から7カ所に配布表を送付しており、平成30年度以降も引き続き配布を行うため、平成30年度以降は数値目標にいたしません。

(カ) 訪問看護実人数

(単位：人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
27	30	38	126	A	40

【平成29年度自己評価】

訪問診療として名誉院長先生が毎週水曜日に訪問できる体制が整いました、看護師も2名体制になったことにより、実人数が増となった。平成30年度は、40名以上を目標とする。

(キ) 訪問看護延人数

(単位：人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
847	940	955	102	A	980

【平成29年度自己評価】

医療処置が多い患者が増加し、訪問日数も増加し、目標を達成することができた。平成30年度は、35名増の980名以上を目標とする。

2 経営指標に係る数値目標

(ア) 経常収支比率

(単位:%)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
105.2	101.0	102.7	101.7	A	103.0

【平成29年度自己評価】

入院収益の減少、また医師3名の増や退職者16名の退職負担金の影響で給与費が増加したことで、経常収支比率が2.5%減少となった。平成30年度は、医業収益の増加を図り103.0%以上を目標とする。

(イ) 医業収支比率

(単位:%)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
95.4	92.0	87.0	94.6	C	92.0

【平成29年度自己評価】

入院収益の減少、また医師3名の増や退職者16名の退職負担金の影響で給与費が増加したことで、医業収支比率が8.4%減少となった。平成30年度は、医業収益の増加を図り92.0%以上を目標とする。

(ウ) 人件費比率(職員給与費対医業収益比率)

(単位:%)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
55.2	57.0	59.2	96	B	57.0

【平成29年度自己評価】

医師3名の増や人事院勧告による影響で、退職給付費を除く給与費で68,051千円増加となり、人件費比率は4%増となった。平成30年度は、医業収益の増加を図り57.0%以下を目標とする。

(エ) 後発医薬品比率

(単位:%)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
23.2	24.0	22.4	93.4	C	24.0

【平成29年度自己評価】

新医薬品の採用申請が多くなり、目標が達成できなかった。院内薬事委員会において、採用基準をもう一度見直し、後発医薬品比率24%以上を目標とする。

(オ) 新入院患者数 (単位：人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
1,945	1,950	1,936	99.3	B	1,950

【平成29年度自己評価】

小児科及び耳鼻咽喉科で医師が常勤となり、入院患者数150人増となったが、循環器科、外科、整形外科の入院患者が減少した。平成30年度は、循環器科が非常勤医師となり入院患者は見込めないが、新改革プラン目標値1,950人を目標とする。

(カ) 病床利用率 (単位：%)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
75.6	75.6	74.0	98	B	77.0

【平成29年度自己評価】

小児科及び耳鼻咽喉科で医師が常勤となり入院患者数が150人増となったが、循環器科、外科、整形外科の入院患者が減少し、全体で昨年度比較790名が減少となった。平成30年度は、循環器科が非常勤医師となり入院患者は見込めないが、新改革プラン目標値77%を目標とする。

(キ) 維持透析患者数 (単位：人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
46	47	42	93	C	43

【平成29年度自己評価】

平成29年度に透析患者が5名死亡されたため、維持透析患者数が減少した。平成30年度は、43名を目標とする。

(ク) 早期リハビリテーション加算算定単位数 (単位：単位)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
6,537	6,600	6,483	98	B	6,600

【平成29年度自己評価】

早期リハビリテーション対象者の包括ケア病床の入床により、単位数が昨年度より減少となった。そのため、包括ケア病床病床率や包括ケア病床が増加となれば、早期リハビリテーション加算算定単位数は減少傾向となるが、平成30年度は、6,600単位を目標とする。

(ケ) 常勤医師数 (単位:人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
13	15	16	107	A	15

【平成29年度自己評価】

小児科、耳鼻咽喉科、内科医師3名が増となり目標を達成した。平成30年度も15名の常勤医師を目標とする。

(コ) 認知症ケア加算対象の看護師数 (単位:人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
13	16	16	100	A	19

【平成29年度自己評価】

目標どおり、認知症ケア加算対象の看護師数が16名となった。平成30年度は新規に3名の看護師を研修させ19人を目標とする。

(サ) セラピスト数 (単位:人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
5	5	5	100	A	6

【平成29年度自己評価】

理学療法士及び作業療法士の5名を維持した。包括ケア病床20床にするために、6人のセラピストが必要となり、またリハビリ加算基準もあがるため、6名を目標とする。

(シ) 薬剤師数 (単位:人)

平成28年度 実績	平成29年度		目標 達成値	評価	平成30年度 目標
	目標	実績			
3	4	4	100	A	4

【平成29年度自己評価】

薬剤師1名が増となり目標達成した。平成30年度も4名の維持を目標とする。

3 目標達成に向けた具体的な取組

(ア) 民間的経営手法の導入

目標項目	評価取組	評価
医療機器保守契約更新の見直し	・医療機器保守契約更新については、必ず検証を行い協議する。	A

【平成 29 年度自己評価】

医療機器一括契約と、個々の医療機器ごとの契約と金額に差異はなく、管球交換が頻繁に起こる医療機器等は、管球交換込の保守委託契約とした。医療保守契約については、個々の医療機器ごとに契約を交わす方が、金額的にも修繕発生時の対応に関しても、優れていると判断した。また保守契約更新時に、契約金額の交渉を委託業者と行った。

目標項目	評価取組	評価
給食委託について	・栄養管理室と引き続き、給食委託の可否について協議する。	A

【平成 29 年度自己評価】

給食委託にするあたり、委託業者の様々な条件を協議し、奥能登 5 病院の委託状況確認や給食委託についてのメリット、デメリットについて協議を行った。給食の質、人材確保、地元食材の提供の問題、サービスの質等を考慮した結果、シルバー人材の人員で対応し、きめ細やかな給食を提供する方針とした。

目標項目	評価取組	評価
検査委託範囲について	・委託検査から院内検査への取り込み、新規実施検査を行う。 ・臨床検査適正化委員会を年 2 回開催し、各科の医師や医療スタッフと検査委託について協議する。	A

【平成 29 年度自己評価】

臨床検査適正委員会を年 2 回開催し、新規検査委託の照会について協議し、新規に院内検査に腓型アミラーゼ測定検査の導入を行うこととした。

(イ) 事業規模・事業形態の見直し

目標項目	評価取組	評価
病床利用率 77%超えの達成に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床数（14床）のベッドコントロールを行い、地域包括ケア病床利用率 85%を目指し、全体の病床利用率上昇を目指す。 ・病床利用率 77%越えの達成。 	B

【平成 29 年度自己評価】

病床利用率は、74%となり 70%越えを維持したが、地域包括ケア病床利用率は、77%となり目標としていた 95%には届かなかった。平成 30 年度は、地域包括ケア病床利用率 85%以上とし、全体の病床利用率 77%以上を目標とする。

目標項目	評価取組	評価
地域包括ケア病床の増床について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床利用率 85%以上の達成。 	C

【平成 29 年度自己評価】

毎週、包括カンファレンスで対象者を選択するが、リハビリの単位数もあり、地域包括ケア病床利用率 77%となった。平成 30 年度は、レスパイト入院や社会的入院等を受入、地域包括ケア病床利用率 85%以上を目標とする。

(ウ) 経費削減・抑制対策

目標項目	評価取組	評価
後発医薬品への切替促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・院内採用薬品については、後発医薬品に変更可能なものは、順次切替を進める。 	C

【平成 29 年度自己評価】

院内薬事委員会を 2 回開催し、採用薬の整理を進め、採用薬の削減を進めたが、後発医薬品への切替は進まなかった。平成 30 年度は、後発医薬品に変更可能なものは、順次切替を行っていく。

目標項目	評価取組	評価
同種同効薬剤の一本化について	<ul style="list-style-type: none"> ・院内薬事委員会は 2 回以上開催し、同種同効薬剤を整理し、採用薬の削減に努める。 ・同種同効果薬剤の一本化を図る。 	B

【平成 29 年度自己評価】

院内薬事委員会を 2 回開催し、採用薬の整理を進め、採用薬の削減に努めたが、完全一本化にはならなかった。

目標項目	評価取組	評価
退職職員を非常勤職員切替について	・退職職員の中から非常勤職員を採用し、医療経験豊富な職員を引き続き雇用する。	A

【平成 29 年度自己評価】

退職者で希望する職員については再任用及び非常勤職員として採用した。再任用職員についても年齢等で区切り、一部を非常勤職員として採用した。

(エ) 収入増加・確保対策

目標項目	評価取組	評価
各種加算項目の見直し及び取得について	・薬剤指導管理料の再取得。 ・外来化学療法加算 1 の取得。 ・認知症ケア加算 1 の取得。	B

【平成 29 年度自己評価】

認知症ケア加算 2 については、平成 29 年 10 月に取得した。薬剤指導管理料については、施設基準に適合しないため、他病院を視察し、当病院建築設計士と協議している。

平成 30 年度は、新たに認知症ケア加算については、加算のレベルアップや新規に外来化学療法加算 1 の取得を目標とする。

目標項目	評価取組	評価
透析需要増への対応	・48 人の維持透析患者の受入が可能だが、需要が増となった場合には、看護師の配置や透析診療日等について協議する。	—

【平成 29 年度自己評価】

平成 29 年度は維持透析患者受入が 43 名だったため、評価しておりません。

目標項目	評価取組	評価
看護基準 10 対 1 の堅持	・看護師数、勤務時間の調整、看護必要度の 15% をクリアする。 ・看護必要度院内評価者研修に 4 名を参加させ、院内研修会を行う。	A

【平成 29 年度自己評価】

看護師数、勤務時間の調整、看護必要度は、18% とクリアし、必要管理委員会においても、必要度評価監査を行った。また研修会には、4 名の看護師を参加させ、院内研修会も行った。

目標項目	評価取組	評価
認知症ケア加算 1 の取得について	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアチームの立ち上げ。 ・週一回程度のカンファレンス及びラウンドの実施。 ・認知症ケアに関する研修の開催。 	A

【平成 29 年度自己評価】

認知症ケア加算 2 については、看護師に看護研修について周知し、認知症患者のアセスメント及び看護方法等について受講した看護師の配置を行い、認知症ケアに関するマニュアルや手引書を作成し、平成 29 年 10 月に取得した。平成 30 年度は、認知症ケア加算 2 から認知症ケア加算 1 の取得を目標とする。

(オ) その他

目標項目	評価取組	評価
薬剤師修学資金の貸与の促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習に参加された中高生に対し、薬剤師修学資金について説明を行う。 ・金沢大学、北陸大学に薬剤師修学資金のパンフレット等で、募集の周知を行う。 	A

【平成 29 年度自己評価】

平成 29 年度は体験学習に参加された中高生及び町内の中学校で 2 回行った出前講座で薬剤師修学資金について説明を行った。北陸大学の薬学部を訪問し、薬剤師修学資金の説明及び募集を行った。

目標項目	評価取組	評価
紹介状ありの患者様の優先診察について	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介状のある患者様については、紹介状を総合窓口、外来窓口で提出してもらうことで、優先診察を行っているという情報の発信を行う。 	A

【平成 29 年度自己評価】

総合窓口や外来窓口において、紹介状のある患者様についての情報を発信した。平成 30 年度以降も情報を掲示物等で発信する。

(カ) 職員の意識改革

目標項目	評価取組	評価
病院長の医局員への指導体制の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・加算体制に応じた基準の確認や、病院内のルールの徹底、医療事故防止等の観点から、これまで以上に病院長の医局員に対する指導体制を強化する。 	A

【平成 29 年度自己評価】

医局会に全員出席するよう医局員に周知させ、院内のルールや医療事故防止に対する指導を行った。

目標項目	評価取組	評価
各科症例検討会及び 医師会合同症例検討 会の拡充について	・クリニカルラウンド等により、能登北部医療圏の医療 機関と症例検討会を行うことにより、連携を密にし、 地域医療の推進を図る。	A

【平成 29 年度自己評価】

年 8 回のクリニカルラウンドで医師、研修医を含め延べ 43 名が症例検討会に出席し、
連携を密にし、地域医療の推進を図った。

目標項目	評価取組	評価
目標管理及び意識改 革を目的とした各部 門ミーティングの実 施について	・改革プランワーキンググループ会議を、年 2 回開催し、 各職種部門のミーティングを実施し、数値目標や取組 状況について点検、確認を行う。	A

【平成 29 年度自己評価】

改革プランワーキンググループ会議を 6 月及び 8 月に開催し、各職種部門のミーテ
ィングを実施し、目標に向けての進捗状況を把握し、点検及び確認を行った。

目標項目	評価取組	評価
職員研修機会の拡充 について	・接遇研修、医療安全研修、感染研修、e-ラーニングの 実施。 ・看護師ファースト、セカンドレベル研修の実施。 ・認知症看護研修の実施。 ・認定看護師研修の実施。	A

【平成 29 年度自己評価】

看護師ファーストレベル研修（1 名）看護師セカンドレベル研修（1 名）認知症看護
研修（2 名）認定看護師研修（1 名）の職員研修を行った。

目標項目	評価取組	評価
経営状況や直面して いる諸問題の、全職員 の共通認識する情報 発信について	・経営状況説明会を年 2 回開催し、その中で、経営状況 や諸問題を、全職員に情報を発信する。 ・病院幹部や町幹部には、経営改善会議を 2 回開催し、 経営状況や諸問題について、情報を発信する。	A

【平成 29 年度自己評価】

町長をはじめとした町幹部には、経営改善会議を 6 月と 11 月に開催し、平成 29 年
度決算状況報告、近隣病院との決算比較、30 年度事業計画について意見交換を行い、
また職員に対しては、経営状況説明会を 7 月、8 月に開催し、経営状況や諸問題につい
て情報の共有化を行った。